

令和元年度 札幌会場 弘前大学理工学部

進学相談会

日 時

令和元年 9月20日(金)
午後 4時から8時まで

対 象

高校生、保護者、高校教員、
本学部に興味をお持ちの方
(事前申込不要)

場 所

札幌駅直結「アスティ45」16階
ACU-A[アキューA]
(札幌市中央区北4西5)

JR札幌駅からアスティ45へのアクセス



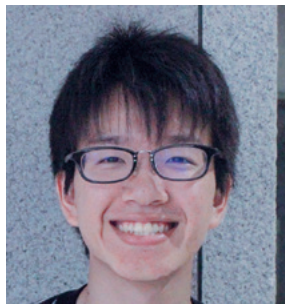
お問い合わせ先

国立大学法人 弘前大学 大学院理工学研究科 総務グループ
〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地 TEL 0172-39-3510
理工学部Webサイト <http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/>



理工学部
Webサイト
QRコード

北海道出身の先輩達からのメッセージ



数物科学科 2年

畑地 健

北海道滝川高等学校

数物科学科は、『数理科学』、『物質宇宙物理学』、『応用計算科学』の3つのコースがあり、1年次は数学と物理の基礎、2年次以降は各コースに分かれ、それぞれの専門分野を学びます。

現在、私は数理科学コースに所属し、解析学や代数学などの分野を中心に勉強しています。数物科学科には将来研究者や教師になりたい人など、さまざまな目標を持った人がいます。

北海道出身の学生も多く、とてもフレンドリーなので初めての一人暮らしに対する不安も少ないです。この他にも部活やサークルなど沢山あるので、ぜひ弘大で楽しいキャンパスライフを送りましょう!!



物質創成化学科 2年

高橋 佑季

北海道札幌手稲高等学校

大学は高校とは違って自発的に学ぶ場です。物質創成化学科ではさまざまな化学の分野を1つ1つ深くまで学ぶことができます。なので自分の興味のある分野を見つけて化学をとことん追求していくことができます。

また、弘前大学では自身がスキルアップできるサポートや、学生の生活のサポートがとても充実しています。私は今、親元を離れて寮生活をしています。勉強とサークルを両立して毎日楽しく安全に大学生活を送っています。受験生の皆さんは受験期で大変だと思いますが、自分の目標に向かって頑張ってください。応援しています。



地球環境防災学科 2年

玉手 匠

北海道滝川高等学校

地球環境防災学科は、学ぶことのできる内容が地球の仕組みから災害に関することまでとても幅が広いのが特徴の一つです。そのため、自分が興味を持った分野以外の視点からも学ぶことができます。また、大学は高校よりも自由な時間を多く作れるのでアルバイトやサークル活動などいろいろなことに挑戦できます。

大学生活は今までの学生生活とは異なることも多く、不安に思う人もいるかもしれませんが、きっとそれ以上に充実したものとなるでしょう。皆さんが受験勉強を乗り越え、大学生として新しい一歩を踏み出せるよう応援しています!



電子情報工学科 2年

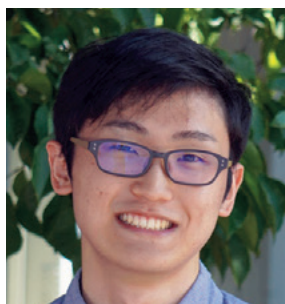
赤坂 知哉

北海道札幌手稲高等学校

電子情報工学科は、電子・電気回路設計やパソコンを用いたプログラミングなど、電子工学と情報工学をバランスよく学ぶことの出来る学科です。IT化が進む社会にとっては、これから益々重要となる技術を学ぶことが出来ます。

北海道を離れて大学生活を送ることに對して不安を抱いている人がほとんどだと思いますが、毎年多くの北海道出身者がこの大学に入学しているので、大切な仲間がきっと出来るはずですよ。

大学は高校に比べて自由な時間がとても長いので、自分の学びたいことをとことん学べます! 受験勉強頑張ってください!



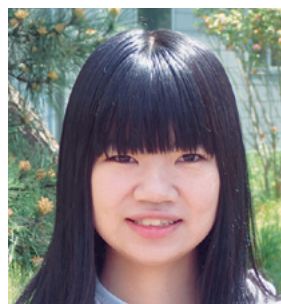
機械科学科 2年

高見 景亮

北海道函館中部高等学校

機械技術は航空機やバイオチップなど多様な領域で用いられています。そのため機械を対象とした研究者・技術者は、機械工学をはじめ情報工学、医用工学などの広い知識を獲得する必要があります。

私が所属する機械科学科では、それらの基礎を講義と実験を通して確実に学ぶことができ、最終的にそれらの知識を用いて、卒業研究を知能機械と医用機械に関連する6つの分野で行うことができます。研究の詳細は理工学部のWebサイトにある教員の研究紹介を見ると自分の将来を考える材料になると思います。現在、私は充実した日々を過ごしています。



自然エネルギー学科 2年

大槻 映玲永

北海道市立札幌開成中等教育学校

皆さんは自然エネルギー学科と聞いて何を思い浮かべるでしょうか? 自然エネルギー学科は、今、世界的に普及が進んでいる再生可能エネルギーについて幅広く、専門的に学ぶことができる学科です。私は今、熱力学やエネルギー化学というエネルギーの分野を学ぶ上で最も基本となることを中心に日々勉強しています。

また、勉強以外にもサークルやアルバイトを通して色々な人と出会えて、とても充実した日々を過ごしています。北海道を出るというのは勇気のいる決断ですが、新たな環境で好きなことに挑戦してみるのも良いのではないのでしょうか。

